

この本の特長

『語彙ドン！—大学で学ぶためのことば—』（以下、『語彙ドン！』）には、おすすめのポイントが四つあります。



- ① 大学や専門学校の授業でよく使われることばをまとめて勉強できる
- ② いろいろな練習やゲームで楽しく勉強できる
- ③ 一回勉強したことばを、何回も使うチャンスがある
- ④ 「本当の (authentic) 読み物」を読むステップになる

① 大学や専門学校の授業でよく使われることばをまとめて勉強できる

「日本語を上手に使えるようになるために語彙(vocabulary)が大切なのはわかる。でもたくさんあって、何をどれから勉強したらいいかわからない！」と言う人はたくさんいます。そこで、『語彙ドン！』では、「大学で学ぶためのことば」を集めて、これらを中心に勉強できるようにしました。この本で勉強することばは、著者の一人の松下達彦が作った「日本語学術共通語彙 (Japanese Common Academic Words)」から選びました。『語彙ドン！ Vol.1』ではそのうちの600語を勉強します。どれも、いろいろな専門の本や授業で広く使われています。これらは上級に進むためにとても大切なことばですが、毎日の生活で見たり聞いたりすることはあまりありません。ですから、『語彙ドン！』を使って勉強することをおすすめします。

② いろいろな練習やゲームで楽しく勉強できる

『語彙ドン！』では、ことばを覚えるために、いろいろな方法が使われています。次の方法のなかに、みなさんがいつもしている勉強の方法と同じものがありますか？

- * 自分がそのことばを知っているかどうか、よく考えてみる。
- * 知らないことばでも、文脈(context)からどんな意味が考えながら読んだり聞いたりする。
- * ことばの意味も説明の日本語で読んで、日本語で考える。
- * 同じことばを何回も思い出したり使ったりする。
- * ことばの音と文字を結び付けられるように練習する。
- * いろいろな練習のどれが自分に合っているか考えながら、楽しく勉強できる方法を探さず。

「書いて覚える」「カードにする」という練習もとてもいい方法ですし、前のページの
方法おぼの他ほかにも、おもしろい勉強れんしゅうの方法ほうほうがあるかもしれません(コラム「この本で勉強
することば」(p.52)参照)。自分に合う「覚えやすい方法」「思い出しやすくなる方
法」をいろいろ見つけて、語彙ごいをドン!と増ふやしましょう。

③ 一回勉強したことばを、何回も使うチャンスがある

前に勉強したことばでも、使うときにすぐ思い出せなかったり、テストのあとすぐに
忘れてしまったりしたことはありませんか。『語彙ドン!』は、前に勉強したことば
を使って、新しいことばを勉強するように作られています。つまり、勉強したことば
を思い出して使うチャンスがたくさんあり、何回も勉強できます。

④ 「本当の(authentic)読み物」を読むステップになる

『語彙ドン!』のSTEP 4やチャレンジの文章は「本当の(authentic)読み物」(本・新
聞・ニュースなど)を少し簡単かんたんにしたものです。LESSON 1からLESSON 20にむけて、
少しずつ「簡単にした文」が減り、「本当の(authentic)読み物」に近づいていきます。
勉強したことばもたくさん含まれていますが、まだ勉強していないことばや専門せんもんで使
うことばも入っています。しかし、LESSON 1から少しずつ読む練習れんしゅうをしていくと、
読むのに慣なれて、知らないことばがあっても読めるようになっていきます。ですか
ら、『語彙ドン!』は「ことばを増ふやしながら『本当の(authentic)読み物』を読むた
めのステップ」になっています。

このように、『語彙ドン!』は、大学などの授業を受けるために必要なことばを、いろ
いろな方法ほうほうで何回なんかいも使ひついながら、楽しく勉強できるように作られています。

◎この本で勉強することば(日本語学術共通語彙)について

日本語学術共通語彙は、次のようにして選びました。まず、大学の勉強で使う文章をたくさん集めて、次の四つに分けました。

- A. 人文学 (Humanities)
- B. 社会科学 (Social Sciences)
- C. 理工系自然科学 (Technological Natural Sciences)
- D. 生物・医学系自然科学 (Biological Natural Sciences)

次に、A～Dの一つひとつでよく使われることばを選びました。最後に、A～Dの四つのうち、三つか全部に選ばれたことばを「学術共通語彙」にしました。A～Dのうち三つより多いジャンルで使われるので、文系(A.人文学、B.社会科学)でも理系(C.理工系自然科学、D.生物・医学系自然科学)でもよく使われることばです。こうして1100語くらいのことばが選ばれました。

これらのことばは、勉強に使いますが、専門用語(Technical term)ではありません。どの専門でもよく使われますし、新聞やニュースでもよく使われることばです。生活のためなことばやドラマ・小説のことばとは少し違います。

この「日本語学術共通語彙」のことばは、大学や専門学校などで授業を受けるためには、下の図のように中級でいちばん大切だと言えます。

レベル Level	ジャンル Genre (ことばが使われるところ)			
上級 Advanced じょうきゅう	専門のことば せんもん			ドラマ・ 小説のことば しょうせつ
	人文 じんぶん	社会 しゃかい	理工 りこう	
中級 Intermediate ちゅうきゅう	勉強によく使うことば = 学術共通語彙 がくじゆつきょうつうごい			生活会話の ことば せいかつかいわ ことば
初級 Elementary しょきゅう	どんなジャンルでも使われる、よく使うことば			

↑
だんだん使われる回数が増える

↑
だんだん狭く(専門的)になる

◎『語彙ドン!』ウェブサイト: <http://www.9640.jp/goidon/>



- no. の音声ファイル
- 追加の練習問題
 - ・ STEP3のアクティビティ 2, 3
 - ・ STEP4の内容理解問題

この本の使い方



チェックでドン! : まずは今の自分を知ろう

STEP 1のことはを見て意味がわかるときは○、わからないときは×、困ったときは△を書きましょう。読み方も書いてみましょう。わからないときは、そのことばの番号に○をつけておきましょう。ウェブサイトに音声があるので、聞いてみましょう。

		意味がわかる	読み方			意味がわかる	読み方
1	レベル	○	れべる	16	～化(する)		
2	説明(する)	△	せつめい	17	初め/始め		
3	力	△	ちから	18	位置(する)		
④	考える	×		19	ほとんど		
5	例えば			20	コンピューター		



例文・意味でドン! : 例文を読んで、意味をイメージしよう

少し長い例文を読んでみましょう。下線のことばは、STEP 1のことばと同じです。ことばが文全体の中でどんな意味で使われているか、考えながら読みましょう。辞書を使わずに、そのことばの前後や、前の文や後ろの文を読みながら、文を読み進めてみましょう。下線のことばは、下に意味と短い例文があります。わからないときに見てください。また、右にあることばをかくして、_____に何が入るか考える練習もできます。また、聞くことが苦手な人は、音声をダウンロードして聞いてみましょう。

- 1** 日本語のレベルが上がると、説明できることも増える。だが、本当に日本語の力がある人というのは、日本語で考える力がある人のことではないだろうか。例えば、二つのものを比べて、いい点とよくない点をわかりやすく言うことは、よく考えることができなければ難しい。考える力があれば、説明力も伸びていくはずだ。皆さんには、このテキストで学びながら、ぜひ日本語を使って考えるようにしてもらいたい。

右にあることばをかくすと、カバーのしおりを使うと便利です。

1	名詞 ① [level] 高さ。どのくらいよいか、または、どのくらいあるかを言うもの。 例 日本語を勉強して、日本の大学に入れる _____ になりたい。	レベル
2	文節 ① 人がわかるように、その意味や様子を話すこと。 例 パソコンを初めて買った母にその使い方を _____ する。	説明(する)





ゲームでドン! : 3種類のアクティビティーで楽しみながら勉強しよう

STEP 3には三つのアクティビティー(activity)があります。ゲームのように楽しく勉強できます。

アクティビティー①

左と右の漢字を線でつないで、一つのことばにしましょう。問題文の _____ に合うことばを探して、_____ に入れます。

a	膨	・	体	_____
b	貢	・	築	_____
c	大	・	大	膨大/ぼうだい
d	構	・	献	_____

- 公園をきれいにする _____ をこれからも友達と続けていくつもりだ。
- _____ 旅行にもひとりでの旅行にも、よい点と悪い点がある。
- 来週までに _____ 量の資料を読んで、レポートを書かなければならない。

アクティビティー②

問題文の _____ に入ることばをボックスから探して、文を完成させましょう。動詞は文に合う形に入れてください。

し	よ	う	か	い	<input type="checkbox"/>	認める
せ	む	じ	い	み	<input type="checkbox"/>	_____
い	け	ゆ	い	と	<input type="checkbox"/>	_____
ふ	る	う	ん	め	<input type="checkbox"/>	_____
さ	ま	ざ	ま	る	<input type="checkbox"/>	_____
					<input type="checkbox"/>	_____

- 1年間の留学生活で _____ なことを勉強することができた。
- 家族は私が外国人と結婚することを 認め てくれた。
- 初めて出席する人に自己 _____ をしてもらいましょう。

アクティビティー③

問題文の _____ に入ることばを使って、クロスワードを完成させましょう。動詞は辞書形にして入れてください。

→(左から右へ)

- 1 今やっている毎日の小さなことが、きっと未来の自分につながっている。
- 2 _____ の人がやさしくなれば、この世界は平和になるだろうか。
- 5 おいしい料理のためには、しっかりした _____ が大切だ。

↓(上から下へ)

- 2 何も問題ないので、このま話を _____ てください。
- 3 何か困ったことがあったら、留学生 _____ の先生に聞いてみるとよい。
- 4 私も彼の意見と _____ に、この建物を壊すことに反対だ。

STEP 2で勉強したことがどんな意味だったか、思い出しながらか解いてみましょう。
STEP 3が難しいときは、STEP 2に戻って、それぞれのことばの例文や意味を読み直してきましょう。



STEP 4 読んでドン! : 長い文章を読んで、学んだことばの復習をしよう

このレッスンで勉強したことばのうち、いくつかのことばが入った文章を読みます。そのあとに「ことば問題」にチャレンジしてきましょう。ここの文章は、日本で売られている本の「本当の(authentic)」文章から選びました(読みやすくするために、ことばを少し変えてあるものもあります)。これが読めるということは、しっかりことばが身についているということです。もしわからなかったら、STEP 2をもう一度見て、復習しましょう。「内容理解問題」がウェブサイトにありますので、ダウンロードしてチャレンジしてきましょう。



NEXT STEP チャレンジドン! : 覚えたことばでいろいろチャレンジしてみよう

- ◎「チャレンジドン!」を読んでみましょう。この本の中で一番「本当の読み物」に近いです。理解を深めたい人は、「内容理解問題」をダウンロードしてやってみましょう。
- ◎読むだけが勉強ではありません。勉強したことばを使って例文を書いてみましょう。できるなら、いくつかのことばを使って、少し長い文章を書いてみましょう。

■ 漢字とその読み方について ■

漢字の下にあるひらがなは「ふりがな」といいます。この本では、漢字で書かれることが多いことばは漢字で書き、漢字だけでは難しいことばには、ふりがながついています。LESSON 1からLESSON 20まで、勉強したことばが増えると、ふりがなはだんだん少なくなっていきます。また、まだ勉強していないことばについては、以下のようなルールになっています。LESSON 1から12まで:

初級(JLPT-N4)より難しいことば・漢字にふりがながついています。また、初級でも漢字で書くと読み方がわかりにくいものにはふりがながついています。

LESSON 13から20まで:

ふりがなが少しずつ少なくなります。上級のことば・漢字(N1)や、あまり使われなくて難しいことば・漢字にはふりがながついています。LESSON 12までに勉強したことばや、中級のことば・漢字(N3/N2)にはふりがながついていません。

Lesson 1	Lesson 2	Lesson 3	Lesson 4	Lesson 5
1 レベル p.2	31 講義(する) p.12	61 紹介(する) p.22	91 種類 p.32	121 背景 p.42
2 説明(する) せつめい	32 非常 ひじょう	62 監視(する) かんし	92 生物 せいぶつ	122 光 / - 光 ひかり / こう
3 力 / - 力 ちから / りょく	33 特別 とくべつ	63 センター	93 異なる こと	123 反射(する) はんしゃ
4 考える かんが	34 注目(する) ちゅうもく	64 役割 やくわり	94 発達(する) はつたつ	124 面積 めんせき
5 例えば たと	35 言い換える い か	65 主に おも	95 有利 ゆうり	125 等しい ひと
6 比べる p.3	36 十分 じゅうぶん	66 様々 さまさま	96 述べる ゆべ	126 手段 しゅだん
7 点 とん	37 分ける p.13	67 まとめる	97 基づく もと	127 障害 しょうがい
8 関係(する) かんけい	38 活動(する) かつどう	68 会 p.23	98 物理 p.33	128 取り上げる と あ
9 現実 げんじつ	39 取り組み とりぐみ	69 向ける む	99 - 学 がく	129 まず
10 - 的 (な) てき	40 貢献(する) こうけん	70 提案(する) ていあん	100 データ	130 透明 p.44 とうめい
11 他 ほか	41 今後 こんご	71 状況 じょうきょう	101 日常 にちじょう	131 分類(する) ぶんれい
12 - 付け つけ	42 団体 だんたい	72 疑問 ぎもん	102 体系 たいけい	132 以降 いご
13 生活(する) p.4	43 表す p.14	73 会員 かいいん	103 科学 ががく	133 割合 わりあい
14 社会 しゃかい	44 以下 い か	74 準備(する) じゅんび	104 競争(する) きょうそう	134 カテゴリー
15 電子 でんし	45 一方 いっぽう	75 発展(する) p.24	105 特徴 とくちょう	135 当てはまる あ
16 - 化(する) か	46 以上 いじょう	76 コミュニケーション (する)	106 富む p.34 と	136 前者 ぜんしや
17 初め / 始め はじ	47 明らか あき	77 つながる	107 含める ふく	137 吸収(する) きゅうしゅう
18 位置(する) いち	48 構築(する) こうちく	78 地理 ちり	108 イメージ(する)	138 後者 こうしや
19 ほとんど	49 必要 p.15 ひつよう	79 自由 じゆう	109 結果 けっか	139 完全 かんぜん
20 コンピューター	50 チェック(する)	80 認める めと	110 技術 ぎじゆつ	140 図 ず
21 時点 じてん	51 膨大 ぼうだい	81 計画(する) けいかく	111 形 / - 形 p.35 かたち / けい	141 表 ひょう
22 行う おこな	52 あるいは すず	82 進める p.25	112 限る かぎ	142 適する p.46 てき
23 検討(する) けんとう	53 方法 ほうほう	83 全て すべて	113 容易 ようい	143 ライフ
24 特定(する) ていてい	54 システム	84 経験(する) けいけん	114 代表(する)	144 式 しき
25 筆者 ひんしや	55 量 りょう	85 急速 きゅうそく	115 チーム	145 中止(する) ちゅうし
26 ため	56 ある p.16	86 有効 ゆうこう	116 極端 きょくたん	146 アイデア
27 行為 こうい	57 用いる もち	87 政府 せいふ	117 全体 p.36 ぜんたい	147 数学 p.47 すうがく
28 特に とくに	58 多く おほ	88 補う おほ	118 前後(する) ぜんご	148 試験(する) しけん
29 目的 もくてき	59 大量 たいりょう	89 同様 p.26 どうよう	119 移動(する) いどう	149 単位 たんい
30 運動(する) うんどう	60 消費(する) しょうひ	90 - 性 せい	120 - 数 / 数 - すう / すう	150 値 / - 値 ち / ち

Lesson 6			Lesson 7			Lesson 8			Lesson 9			Lesson 10		
151	人口 じんこう	p.54	181	自然 しぜん	p.64	211	対象 たいしやう	p.74	241	中央 ちやうやう	p.84	271	属する ぞく	p.96
152	統計 とうけい		182	合併(する) がっぺい		212	意識(する) いしぎ		242	行動(する) こうどう		272	章 しやう	
153	発表(する) はつぴやう		183	自体 じたい		213	及ぶ およ		243	集合(する) しやうごう		273	相互 そうご	
154	最も もっと		184	価値 かち		214	要素 やうそ		244	おのおの		274	結論(する) けつろん	
155	約 やく		185	安全 あんぜん		215	追求(する) ついきゆう		245	選択(する) せんたく		275	単に ただん	
156	- 倍 ばい		186	伝統 でんどう		216	提供(する) ていきやう		246	従う したが		276	交流(する) かうりゆう	
157	報告(する) ほうこく		187	刺激(する) しげき	p.65	217	投入(する) とうにゆう	p.75	247	基本 きほん	p.85	277	事業 じぎやう	p.97
158	関わる かか	p.55	188	モデル		218	生み出す うみだ		248	直接 ちやくせつ		278	多様 たやう	
159	危険 きけん		189	動作 どうさ		219	矛盾(する) まひん		249	つまり		279	接する せつ	
160	作業(する) さぎやう		190	作成(する) さくせい		220	条件 じやうけん		250	ワーク		280	生じる しゆう	
161	就く つ		191	働 き はたら	p.66	221	維持(する) いじ		251	観察(する) かんさつ		281	スムーズ	
162	半数 はんすう		192	密接 みつせつ		222	同時 どうじ		252	正確 せいかく		282	実験(する) じけん	
163	関する かん		193	状態 じやうたい		223	徹底(する) てつてい		253	記録(する) きろく	p.86	283	パターン	
164	計算(する) けいさん		194	影響(する) えいきやう		224	両方 りやうほう	p.76	254	作り出す つく		284	全国 ぜんこく	
165	サービス(する) サービス	p.56	195	安定(する) あんてい		225	全般 ぜんぱん		255	与える あた		285	超える こ	p.98
166	- 業 ぎやう		196	保障(する) ほしょう		226	流れ なが		256	及ぼす およ		286	試み こころ	
167	メディア		197	職 しやく	p.67	227	順序 じゆんじゆ		257	調査(する) ちやうさ		287	- 者 しゃ	
168	地域 ちいき		198	現代 げんだい		228	描く えが		258	単独 たんどく		288	制度 せいど	
169	得る え		199	求める もと		229	備える そな		259	複数 ふくすう		289	適用(する) てきやう	
170	デジタル でじたる	p.57	200	情報 じやうほう		230	分野 ぶんや		260	視点 してん	p.87	290	範囲 はんい	
171	処理(する) しりゆ		201	動向 どうかう		231	読み取る よみと	p.77	261	対照(する) たいしやう		291	制限(する) せいげん	
172	法律 ほうりつ		202	最新 さいしん		232	共有(する) きやうゆう		262	人種 じんしゆ		292	所在(する) しよざい	p.99
173	工業 こうぎやう		203	都市 とし	p.68	233	チャンネル		263	対する たい		293	管理(する) かんり	
174	産業 さんぎやう		204	生産(する) せいさん		234	ステージ		264	タイム たいむ	p.88	294	縮小(する) しゆくしやう	
175	長期 ちやうき		205	言わば い		235	共感(する) きやうかん		265	際 さい		295	国土 こくど	
176	形態 けいだい		206	独自 どくじ		236	主流 しゆうりゆう		266	本来 ほんらい		296	除く ぞく	
177	推定(する) すいでい	p.58	207	美術 びじゆつ		237	特色 とくしやく	p.78	267	明確 めいかく		297	経過(する) けいか	
178	- 代 だい		208	集団 しゆたいだん		238	加える く		268	委員 いゐん		298	採用(する) さいゆう	p.100
179	順 じゆん		209	スクリーン		239	方向 ほうかう		269	主要 しやうやう		299	段階 だんぱん	
180	- 当たり あ		210	開放(する) かいほう		240	存在(する) そんざい		270	間接 かんせつ		300	アウト	

Lesson 11		Lesson 12		Lesson 13		Lesson 14		Lesson 15						
301	理由 りゆう	p.106	331	不可欠 ふか けつ	p.116	361	資料 しりょう	p.126	391	延長(する) えんちやう	p.136	421	構造 こうぞう	p.146
302	やりとり(する)		332	使用(する) しやう		362	文献 ぶんけん		392	可能 かのう		422	研究(する) けんきゆう	
303	反応(する) はんのう		333	程度 ていど		363	いわゆる		393	短期 たんき		423	一般 いっぱん	
304	適切 てきせつ		334	望ましい のぞましい		364	引用(する) いんやう		394	理解(する) りかい		424	資源 しげん	
305	コントロール(する)	p.107	335	通常 つうじやう		365	ポイント		395	活発 かつぱつ		425	重要 じゆうやう	
306	誤り あやま		336	一種 いっしゆ		366	規則 きそく		396	比較(する) ひかく		426	周辺 しゆうへん	p.147
307	単純 たんじゆん		337	含む ふく		367	宣言(する) せんげん	p.127	397	年度 ねんど	p.137	427	環境 かんきやう	
308	新た あら		338	副 - ふく	p.117	368	平均(する) へいきん		398	整理(する) せいり		428	汚染(する) おせん	
309	カバー(する)		339	作用(する) さやう		369	目標 もくひやう		399	典型 てんてい		429	開発(する) かいはつ	
310	当事者 とうじしや		340	注意(する) ちゆい		370	掲げる かか		400	一致(する) いっし		430	ゆるやか	
311	組織 そしき		341	方針 ほうしん		371	発想(する) はつそう		401	一部 いちぶ		431	現在 げんざい	
312	中間 ちゆうかん	p.108	342	拡大(する) かくたい		372	数値 すうち		402	類 / - 類 るい		432	判断(する) はんだん	
313	定着(する) ていちやく		343	実施(する) じし		373	厳密 げんみつ		403	承認(する) しやうにん	p.138	433	基盤 きばん	p.148
314	複雑 ふくざつ		344	すなわち		374	分析(する) ぶんせき	p.128	404	未 - み		434	ただし	
315	開始(する) かいし		345	具体 ぐたい		375	テーマ		405	優れる すぐ		435	- 源 げん	
316	訴える うった		346	焦点 しやうてん	p.118	376	構成(する) こうせい		406	質 / - 質 しつ		436	変化(する) へんか	
317	合計(する) ごうけい		347	プラス(する)		377	反映(する) はんえい		407	根拠 こんこ		437	効果 こうか	
318	追加(する) ついか	p.109	348	マイナス(する)		378	区分(する) くぶん		408	示す しめ		438	期待(する) きたい	
319	サイド		349	プログラム		379	応じる おう		409	実用 じつやう		439	機能(する) きのう	p.149
320	肯定(する) かうてい		350	責任 せきにん		380	同一 どういつ		410	評価(する) ひやうか		440	進歩(する) しんぽ	
321	項目 かうもく		351	否定(する) ひてい	p.119	381	普及(する) ふきやう	p.129	411	関心 かんしん		441	水準 すいじゆん	
322	取り込む とこむ		352	応用(する) おうやう		382	なす		412	健全 けんぜん	p.139	442	通じる つう	
323	重大 じゆうたい		353	性質 せいしつ		383	経る へ		413	保つ たも		443	考慮(する) かうりよ	
324	循環(する) じゆんかん	p.110	354	化学 かがく		384	適当 てきとう		414	オープン(する)		444	論争 ろんそう	p.150
325	無限 むげん		355	場合 ばあい		385	解決(する) かいけつ		415	指摘(する) しでき		445	ライン	
326	国際 こくさい		356	特有 とくゆう		386	継続(する) けんぞく		416	信頼(する) しんらい		446	測る はか	
327	議論(する) ぎろん		357	生命 せいめい	p.120	387	アプローチ(する)	p.130	417	捉える とら		447	促進(する) そくしん	
328	扱う あつか		358	もたらす		388	特殊 とくしゆ		418	生存(する) せいぞん	p.140	448	急激 きゅうけき	
329	適正 てきせい		359	境界 きやうがい		389	導く みちび		419	近年 きんねん		449	見いだす み	
330	修正(する) しゆしせい		360	確率 かくりつ		390	増大(する) ぞうたい		420	高度 こうど		450	プロセス	

Lesson 16	Lesson 17	Lesson 18	Lesson 19	Lesson 20
451 相当(する) p.156 そうとう	481 過程 p.166 かてい	511 遂げる p.176 と	541 詳細 p.188 しゆさい	571 分布(する) p.198 ぶんぷ
452 指す	482 節 せつ	512 成長(する)	542 あたかも	572 衝突(する) しょうとつ
453 指導(する) しどう	483 指示(する) しじ	513 社 / - 社 しゃ / しゃ	543 仮説 かせつ	573 きわめて
454 スタッフ	484 論じる ろん	514 それぞれ	544 考察(する) こうさつ	574 要求(する) ようきゅう
455 強化(する) きやうか	485 途上 p.167 とじやう	515 一定 いってい	545 部分 ぶぶん	575 確認(する) かんにん
456 区別(する) くべつ	486 支援(する) しえん	516 能力 のうりよく	546 手がかり p.189	576 観点 かんてん
457 顕著 p.157 けんちや	487 実際 じっさい	517 個人 こじん	547 結合(する) けつごう	577 見直し みなし
458 協力(する) きやうりよく	488 向上(する) こうじやう	518 差 さ	548 効率 こうりつ	578 - 視 し
459 さらに	489 基礎 きそ	519 正常 せいじやう	549 一連 いちれん	579 外部 がいぶ
460 関連(する) かんれん	490 最適 さいてき	520 発生(する)	550 当初 とうしよ	580 困難 こんなん
461 機関 きかん	491 しばしば	521 機器 きき	551 占める	581 事例 じれい
462 現象 げんしやう	492 支える ささ	522 専門 せんもん	552 大幅 おほはば	582 著しい いちしる
463 基 もと	493 増加(する) p.168 ぞうか	523 購入(する) こんかう	553 展開(する) p.190 てんかい	583 現状 げんじやう
464 ステップ p.158	494 傾向 けいこう	524 移行(する) いこう	554 特性 とくせい	584 高まる たか
465 以外 いがい	495 側面 そくめん	525 定義(する) p.178 ていぎ	555 発揮(する) はつき	585 決定(する) けつてい
466 供給(する) きやうきやう	496 際する さい	526 沿う ぞ	556 取り入れる と い	586 成立(する) せいりつ
467 型 かた	497 公平 こうへい	527 転換(する) てんかん	557 案 あん	587 伴う ともな
468 製造(する) せいぞう	498 なお	528 意義 いぎ	558 導入(する) p.191 どういゆ	588 類似(する) るいじ
469 低 - てい	499 権利 けんり	529 理論 りろん	559 利用(する)	589 各種 かくしゆ
470 省略(する) しゆりやく	500 変動(する) へんどう	530 手法 しゆほう	560 意図(する) い と	590 規定(する) きてい
471 設備 せつび	501 需要 じゆよう	531 果たす は	561 要因 よういん	591 満たす
472 慎重 しんちやう	502 中心 ちゆうしん	532 課題 かだい	562 連続(する) れんぞく	592 近代 きんだい
473 要する よう	503 積極 せききよく	533 両者 りやうしや	563 拡張(する) かくくわ	593 古典 こてん
474 ルール	504 逆 ぎやく	534 共通(する) きゆうつう	564 設定(する) せつてい	594 解明(する) かいめい
475 指定(する) しでい	505 目指す めざ	535 固有 こゆう	565 概念 がいねん	595 著作 ちよさく
476 回収(する) かいしゆ	506 侵入(する) p.170 しんにゆ	536 挙げる	566 活用(する) かつよう	596 妥当 だとう
477 新規 しんき	507 付属(する) ふぞく	537 認識(する) p.180 にんしき	567 思考(する) しこう	597 生成(する) せいせい
478 係る かか	508 モード	538 確立(する) かくりつ	568 面 めん	598 提示(する) ていじ
479 法 / - 法 ほう	509 操作(する) さうさ	539 前提 ぜんてい	569 原理 げんり	599 複合(する) ふくごう
480 法的 ほうてき	510 費用 ひやう	540 少数 しやうすう	570 本質 ほんしつ	600 相対 そうたい

■本書の特長p.ii
■この本の使い方.....p.v
■索引.....p.212
■参考文献p.218

ちょっと一言
ドン!

COLUMN ①：ことばの勉強のしかた p.52

COLUMN ②：接辞 (Affix) (接頭辞 Prefix と接尾辞 Suffix) p.94
せうじ せうとうじ せうひじ

COLUMN ③：ことばのかたまり (Multiword Unit)
(連語 Collocation と慣用句 Idiom) p.186
れんご かんようく



チェックでドン!

- ①ことばを見て、意味がわかるかチェックしましょう。
 ②漢字の読み方を書きましょう。
 ③音声を聞きましょう。

🎧 1-1

		意味が わかる	読み方			意味が わかる	読み方
1	レベル			16	-化(する)		
2	説明(する)			17	初め/始め		
3	力/-力			18	位置(する)		
4	考える			19	ほとんど		
5	例えば			20	コンピューター		
6	比べる			21	時点		
7	点			22	行う		
8	関係(する)			23	検討(する)		
9	現実			24	特定(する)		
10	-的(な)			25	筆者		
11	他			26	ため		
12	-付け			27	行為		
13	生活(する)			28	特に		
14	社会			29	目的		
15	電子			30	運動(する)		

STEP
2

例文・意味でドン!

例文を読んで／聞いて意味をイメージしましょう。
右のことばを見ないようにして、___に何が入るか考えましょう。

1
1-2

日本語のレベルが上がると、説明できることも増える。だが、本当に日本語の力がある人というのは、日本語で考える力がある人のことではないだろうか。例えば、二つのものを比べて、いい点とよくない点をわかりやすく言うことは、よく考えることができなければ難しい。考える力があれば、説明力も伸びていくはずだ。皆さんには、このテキストで学びながら、ぜひ日本語を使って考えるようにしてもらいたい。

1	<p>【名詞】</p> <p>意 [level] 高さ。どのぐらいよいか、または、どのぐらいあるかを言うもの。</p> <p>例 日本語を勉強して、日本の大学に入れる _____ になりたい。</p>	レベル
2	<p>【名詞】</p> <p>意 人がわかるように、その意味や様子を話すこと。</p> <p>例 パソコンを初めて買った母にその使い方を _____ する。</p>	説明(する) せつめい
3	<p>【動詞】</p> <p>意1 体や物を動かす時に使うもの。体の中にあるもの。人によって強さが違う。</p> <p>例 _____ が弱いので、大きな荷物をひとりで運ぶのはいつも大変だ。</p> <p>意2 何かができるようになること。</p> <p>例 毎日、日本語を使っていると、きっと日本語の _____ がくたろう。</p> <p>意3 こころの元気。がんばること。</p> <p>例 好きな歌を聞いていると、だんだん _____ が出てくる。</p>	力 ちから
	<p>【接尾辞】</p> <p>意 ~でできる力。</p> <p>例 日本語を使うようになって、会話 _____ が上がった。</p>	-力 りよく
4	<p>【動詞】</p> <p>意 答えを出すために頭の中ですること。</p> <p>例 どうしたらいいか、よく _____ てください。</p>	考える かんが
5	<p>【副詞】</p> <p>意 例を出す前に入れることば。何かを言うときにわかりやすくなるように使う。</p> <p>例 夏の野菜は体を冷やすそうだ。 _____ トマトがその一つだ。</p>	例えば たど

6	【動詞】	意 二つを並べて <u>違う</u> ところや同じところを見たり考えたりすること。 例 バスとタクシーを_____と、バスのほうが安い。	比べる くら
	【名詞】	意1 「、」や「・」「.」のようなとても小さくて丸いもの。 例 この字は小さすぎて、黒い_____にしか見えない。 意2 (「～点」で)テストなどのスコア(score)。 例 次のテストでは100_____を取りたい。 意3 いろいろある中の一つ。 例 わかりにくい_____があれば、質問してほしい。	

2

H-1-3

新しい仕事を探そうと考えている。だが、会社の人たちとの関係は悪くないため、やめたくない気持ちもある。それに、今の仕事をすぐにやめるということは、現実的ではない。もし他の仕事をするとしても、早くても来年の3月31日付けでやめることになるだろう。

8	【名詞】	意 人やものなど、何かと何かがかわり合うこと。 例 野菜のおいしさは、その年の天気と_____している。	関係(する) かんけい
	【名詞】	意 今、目の前にある本当のことや様子。 例 できることなら、3か月くらい旅行したいが、_____には難しい。	
10	【接尾辞】	意 (ものごとや人など、いろいろなことばのあとにつけて)「～らしい」「～のような」などを意味する。 例 この寺の庭はとても日本_____で、外国人にも人気がある。	-的(な) てき
	【名詞】	意1 別のもの、別のところ、別の人。 例 この店にないなら、_____の店に行ってみよう。	
12	【接尾辞】	意 (日にちの意味のことばの後で)その日に。その日で。 例 3月31日_____で、10年間働いた会社をやめた。	-付け つけ

1995年にWindows95が出たことで、人々の生活や社会は大きく変わった。この年は、私たちの社会が大きく電子化していく初めの年という位置づけだ。それから20年、今では、ほとんどの人がコンピューターを使っている。

13	<p>【名詞】</p> <p>意 人や動物などが生きるために、いろいろなことをすること。</p> <p>例 アルバイトをやめてしまったので、_____が苦しくなった。</p>	生活(する) せいかつ
14	<p>【名詞】</p> <p>意 町や学校など、たくさんの人が集まってできているもの。またはその集まり。</p> <p>例 わたしは_____の役に立つ人になりたい。</p>	社会 しゃかい
15	<p>【名詞】</p> <p>意 エレクトロン[electron]の「e」で書かれることもある。これを使って作った機械の名前に使う。</p> <p>例 お弁当を_____レンジで温めた。</p>	電子 でんし
16	<p>【接尾辞】</p> <p>意 かわること。そうなること。</p> <p>例 子どもが少なくなる「少子_____」が問題となっている。</p>	-化(する) か
17	<p>【名詞】</p> <p>意1 始まってから、すぐのとき。最初。</p> <p>例 授業の_____の5分に漢字テストをします。</p> <p>意2 いくつかの同じようなものの中で一番先に出すもの。</p> <p>例 この会社は、社長を_____とする社員全員が女性だ。</p>	初め/ はじめ はじ
18	<p>【名詞】</p> <p>意 ものがあるところ。人がいるところ。</p> <p>例 日本はアジアの中で一番東に_____している国だ。</p>	位置(する) いち
19	<p>【名詞】</p> <p>【副詞】</p> <p>意 だいたい。80～90%ぐらい。</p> <p>例 アルバイトをして4万円あったが、たくさん買い物をして_____なくなった。</p>	ほとんど
20	<p>【名詞】</p> <p>意 [computer]「コンピュータ」とも言う。</p> <p>例 この仕事は_____を使えば、たった5分で終わる。</p>	コンピューター

4

🎧 1-5

今年一番売れた本が映画化されることが決まった。今の時点では誰が主人公
 をするのか決まっていないが、これから何回も会議を行い、検討していくの
 だろう。もしかしたら、もうすでに特定の人に決まっているかもしれない。

21	【名詞】 意 時間の流れの中の一つの時のこと。 例 入学した _____ では、日本語を上手に話すことができなかった。	時点 じでん
22	【動詞】 意 何かをすること。「する」のかたい言い方。 例 明日10時から試験を _____ ので、おくれないうください。	行う おこな
23	【名詞】 意 いろいろ調べて、よく考えたりすること。 例 高い買い物なので、もう少し _____ する時間がほしい。	検討(する) けんとう
24	【名詞】 意 一つのものに決めること、決まっていること。他のものではなくこれだと言うこと。 例 _____ の人ではなく、いろいろな人と話した方がいい。	特定(する) とくてい

5

🎧 1-6

いろいろな人が「どうやってやせたか」について書いた雑誌の中で、ひとりの
 筆者が「やせるためには早く寝ることが大切だ」と言っていた。やせるた
 めには夜遅くに食べるという行為が特によくないので、生活を変えろべきだ
 というこらしい。しかし、目的がないと夜早く寝るのは難しい。そのため、
 朝早く起きて体を動かすことにしようと思う。そう考えると、やはり大事な
 のは運動ということになるのだろうか。

25	【名詞】 意 その文や本を書いた人。 例 この文章は _____ が17才の時に書いたものだ。	筆者 ひっしや
26	【名詞】 意1 ~にいいことがある。~の役に立つ。 例 子どもの _____ のパソコン教室がある。 意2 ~だから。~ので。 例 雨の _____、試合がなくなった。 意3 これからしたいこと。~したいこと。 例 夏休みに旅行に行く _____ に、毎日アルバイトをしている。	ため

27	<p>【名詞】</p> <p>意 何かをする、そのこと。</p> <p>例 人がいやな気持ちになる _____ はしないほうがいい。</p>	行為 こうい
28	<p>【副詞】</p> <p>意 普通と違って。他と違って、それだけ。</p> <p>例 毎年夏になるとよく雨が降るが、今年の夏は _____ 雨が多かった。</p>	特に とく
29	<p>【名詞】</p> <p>意 どうしてそれをするか。</p> <p>例 私が日本に来た _____ は、大学で日本の歴史を勉強することだ。</p>	目的 もくてき
30	<p>【名詞】</p> <p>意1 体を動かすこと。</p> <p>例 毎日30分は _____ するようにしている。</p> <p>意2 ものが動くこと。</p> <p>例 動いている物の _____ を急に止めようとしても、すぐには止まらない。</p> <p>意3 たくさんの人に自分の考えをわかってもらいたくて何かをしたり話をしたりすること。</p> <p>例 町の人々は川をきれいにする _____ を始めた。</p>	運動(する) うんどう



ゲームでドン!

アクティビティー①

左と右の漢字を線でつないで、一つのことばにしましょう。

できたことばを1.～7.の _____ に入れて文を完成させましょう。
かんぜい

a	目	・	・	点	_____
b	電	・	・	動	_____
c	運	・	・	者	_____
d	位	・	・	定	_____
e	筆	・	・	子	_____
f	時	・	・	的	_____
g	特	・	・	置	_____

1. 若者わかものにしか聞こえない _____ の音があるらしい。
2. くわしいことがわかった _____ で連絡れんらくをください。
3. 毎日、軽い _____ を続けるつづことは健康けんこうによい。
4. もし時間とお金があつたら、_____ を決めずにゆっくり旅行してみたい。
5. この小説しょうせつの _____ の言いたいことは「家族の愛あい」である。
6. _____ 辞書じしょを持っていないので、インターネットの辞書を使った。
7. 猫ねこの目とウサギの目は、_____ が違うちが。猫の目は前まへについているが、ウサギの目は横よこにある。

アクティビティー②

_____ に入ることばをボックスから探して、文を完成させましょう。
 動詞は文に合う形に入れてください。

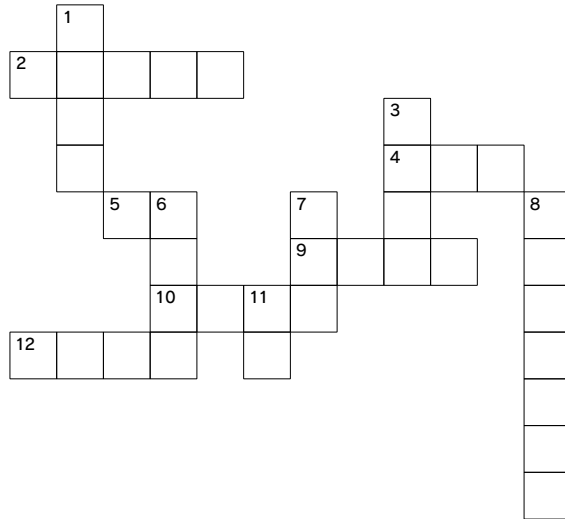
お	く	ら	べ	る	て	ん	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
こ	ん	ぴ	ゅ	ー	た	ー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
な	ち	せ	い	か	つ	た	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
う	て	か	ん	け	い	と	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ほ	か	き	ら	か	は	え	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
し	ゃ	か	い	た	じ	ば	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
れ	べ	る	せ	つ	め	い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- 4月5日10時から大学会館で入学式が_____れます。
- 「すみません」には、「I'm sorry」や「excuse me」の_____に「Thank you」の意味もある。
- これからは、今よりもっと高齢者が多い_____になるだろう。
- 20年前に_____と、今のほうが大雨や大雪が多い気がする。
- 人間が運転せずに、_____で動く車が作られている。
- この学校では、日本語の_____によってクラスがわけられている。
- 日本語の勉強の仕方、_____単語の覚え方について話してください。
- 「に」と「で」の違いがよくわからないので、もう少し詳しく_____してほしい。
- 彼は海外_____が長いので、最近の日本のことをよく知らない。
- 何か、ご不明な_____がありましたら、ご質問ください。
- 彼は_____持ちなので、重い物を運ぶのを手伝ってもらった。
- 外来語は、英語を_____、ドイツ語やオランダ語など、いろいろな国のことばがもとになっている。
- A国とB国の_____は最近よくなってきた。
- 明日は全国_____に、いい天気になるそうだ。
- 私は家族の_____に一生懸命働いている。
- 来年、私の好きなマンガが映画_____されることになった。

アクティビティー⑨

_____に入ることばを使って、クロスワードを完成させましょう。

動詞は辞書形じしょけいにして入れてください。



→(左から右へ)

2	体のことを_____て、タバコをやめた。
4	私の学科 <small>がっか</small> には外国人が多く、その中でも_____アジア出身 <small>しゅっしん</small> の人が多い。
5	6月30日_____で、今働 <small>はたら</small> いている会社を辞めることにした。
9	今日から、春 <small>はる</small> の全国交通安全_____が始まりました。
10	_____の物だけを食べるのではなく、いろいろな物を食べたほうがいい。
12	なぜ、このようなことが起こったのか、来月調査 <small>らいげつさぎ</small> を_____ことにした。

→(上から下へ)

1	小さいころからの夢 <small>ゆめ</small> が_____になろうとしていた。
3	彼は横 <small>かたよこ</small> で見ているだけで、_____手伝 <small>てつた</small> ってくれなかった。
6	このままでよいか、もう一度_____しなおすことにした。
7	スマートフォンを見ながら歩く_____は危 <small>あぶ</small> ないので、やめたほうがいい。
8	スマートフォンが便利 <small>べんり</small> なので、_____を持たない人が増えているらしい。
11	母は日本_____な物 <small>もの</small> が好きなので母の日にプレゼントしたら、とても喜 <small>よろこ</small> んでくれた。



読んでドン!

次の文章を読んで、問題に答えましょう。

「ネット選挙」と初めて聞いたときに、「インターネットを使った投票」を思い浮かべた人は多いはずだ。マスメディアが使う「ネット選挙解禁」という言葉に、「いよいよスマートフォンやパソコンから投票できる時代になるのか」と考えてしまうのも、無理はない。しかし、実はそうではない。電子投票は、今のところ現実的なものではなく、あくまでこれからしばらく検討する事という位置づけである。

2013年時点において、新聞の記事やテレビのニュース番組にもよく登場する「ネット選挙」という言葉が意味しているのは、「インターネットを使った選挙運動」のことなのだ(筆者は少し違和感があるが、これに倣うことにする)。では、その「選挙運動」とは何なのかというと、「特定の選挙において、特定の候補者への投票等をお願いすることを目的とした行為」のことである。

西田亮介(2013)『ネット選挙—解禁がもたらす日本社会の変容—』(東洋経済新報社)

※学習者に配慮し、本書著者により本文を一部改編し、ルビを付加した。

ことば

選挙…多くの中から選ぶこと

投票…自分が選んだことを書いて出すこと

解禁…今までではいけなかったことがして

もよくなること

登場…そこに出てくること

違和感…「違う」という感じ

倣う…他のものと同じようにする

候補…選ばれるかもしれない人

【ことば問題】

問題1. 「ネット」と同じ意味のことばを文章の中から一つあげてください。

問題2. 「選挙」に関係があることばを文章の中から二つあげてください。

問題3. 「インターネットを使った投票」と同じ意味のことばを文の中からあげてください。

問題4. 「マスメディア」に入るものを文の中から全部あげてください。

→ウェブサイトに【内容理解問題】があります。